

下関市立大学都市みらい創造戦略機構は、地域の産業活動及び地域社会の向上に寄与するため、地域の課題について産業界や行政等の学外機関と情報を共有し、学術的観点からその課題解決にあたります。



ごあいさつ

下関市立大学都市みらい創造戦略機構（SIFUCI）が誕生した初年度は、新型コロナウイルス感染症拡大（コロナ）により止む無く全ての活動に対して自粛しなければなりませんでしたが、ところが、2年目となる2022年度は、ようやく社会全体が徐々に経済活動を再開し始めました。それに伴い、SIFUCIも社会状況を鑑みながら地域社会での活動をやってみるという一年でした。コロナによって、丸2年間出来るはずだった地域活動もできず、誰もが悔しい思いをしたと思います。それゆえに、ささやかな地域活動であっても、ありがたみを感じました。

私たち機構スタッフは、当たり前のことを素直に感謝する気持ちをいつまでも大切に、これから訪れるコロナ後の新しい社会状況に向けて「新たな船出」をしようと意識を一つにしました。その想いを形にしようと、SIFUCIとして初めての学内研究発表会「都市みらいフォーラム2022 -新たな船出 これからの社会と公立大学-」を開催することにしました。このフォーラムにおける大きなトピックスは、関門地域共同研究・国際共同研究の再開、本学のキャリア教育が柱にしている課題解決型学習（PBL）の実施、学生主体による地域活動の実施の4項目です。これらの詳細については、本紙内の記事に委ねることにします。しかしながら、研究分野における本質部分は今も、昔も、変わりませんが、研究のあり方が変わってきたように感じています。つまり、コロナにより社会構造が大きく変わったと同時に、私たちの日常生活における生活習慣さえも変化したと認識するならば、研究活動のあり方も当然変化していきます。

これからの社会は、科学技術の急速な発展によりインターネット環境が今よりも、もっと変化していくと考えるならば、より一層のスピード感をもって対応しなければなりません。そのスピードについて行けない人々を支援していただくことも私たちSIFUCIの役割の一つだと思います。このことを踏まえ、SIFUCIは、地域の皆様・産業界・行政機関、本学の学生や教職員の方々が地域連携を促進・活発化していくためのお手伝いをしていきます。それゆえに皆様方の身近な相談窓口であり、情報提供の場でもあります。どうぞ、ご活用いただけますようお願い申し上げます。引き続き、粉骨砕身の思いをもって、精進して参ります。

下関市立大学都市みらい創造戦略機構
機構長 竹内 裕二



公立大学法人

下関市立大学

Shimonoseki City University

Shimonoseki City University, Institute for Future Urban strategy(SIFUC)

●市民大学公開講座

※ 2022年度の公開講座は全てオンラインで開催しました。

《ドイツ生命医療倫理の新展開》

～PGD・ゲノム編集の倫理的課題とは？
全1回 木曜日
日時：2022年6月23日 18:30～20:00
講師：桐原 隆弘 経済学部教授



《ニューカマー高校生の進路形成》

～大阪・神奈川の公立高校での取り組み
全1回 水曜日
日時：2022年7月6日 18:30～20:00
講師：石川 朝子 都市みらい創造戦略機構
特任教員



《鯨の未利用部位有効活用最前線》

～製品化を目指す産学の取り組み
全1回 水曜日
日時：2022年10月26日 18:30～20:00
講師：岸本 充弘 経済学部 特命教授



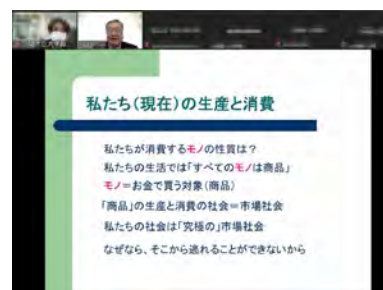
《統計・AI・DS 入門の入門》

～統計・AI・DS（データサイエンス）の
外観と歴史を探る
全1回 火曜日
日時：2022年11月15日 18:30～20:00
講師：佐々木 淳 教養教職機構 准教授



《経済を歴史に学ぶ》

～西洋経済史の一側面から
全1回 木曜日
日時：2022年12月1日 14:00～15:00
講師：藤井 美男 経済学部 特命教授



●都市みらいフォーラム ～新しい船出－これからの社会と公立大学－

日時：2023年3月3日 9:00～16:30
 会場：下関市立大学 本館1棟 I-206 教室
 内容：【午前の部】
 開会セレモニー

基調講演

「スマートシティと下関市の取り組み」
 株式会社フォー・クオリア
 代表取締役社長 松永 州央 氏
 (下関市スマートシティ推進協議会
 アーキテクト)

デジタル人材育成モデル実証事業
 成果報告・意見交換会
 経済学科3年 加茂 創大・小池 はるか

【午後の部】

卒業論文研究発表

「高大連携の可能性に関する一考察」
 経済学科4年 竹下 慶人

「イベントにおける外部団体が行う
 情報発信に関する考察」
 公共マネジメント学科4年 長野 翔也

教員研究発表

「産学官 PBL におけるアクターの役割と
 組織・体制のあり方に関する一考察」
 都市みらい創造戦略機構 特任教員
 石川 朝子

「関門地域共同研究の "これまで" と
 "これから"」
 経済学部 教授 竹内 裕二
 (都市みらい創造戦略機構長)

閉会セレモニー



●関門地域共同研究会

コロナ禍で 2020 年度・2021 年度は開催されなかった関門地域共同研究会が再開されました。

研究会が 1994 年に発足し、来年度には 30 年目という一つの節目を迎えるにあたり、今年度は、今後の共同研究のあり方についてより発展的に検討していくという観点から、過去の研究テーマを見つめなおすことにしました。

さらに、この 30 年間の関門地域の社会経済情勢の変化などを踏まえ、今後どのような関門地域研究があり得るか考察し、「関門地域共同研究のこれまでとこれから」をタイトルとした「関門地域共同研究」を発行することとなりました。



●国際共同研究

《国際共同研究交流会》

日時：2023年2月13日 11:00～12:30

会場：大会議室（本館II棟5階）

韓国から現代海洋漁村第6次産業海外現場視察団が来学し、竹内都市みらい創造戦略機構長が日本の農漁村における6次産業に関する講義を行いました。

視察団を引率した李應珍教授の所属する大邱大学校と本学都市みらい創造戦略機構は、関門港構想における新たな国際物流航路に関する共同研究の可能性について検討しています。



●デジタル人材育成モデル実証事業

下関市からの受託事業として取り組み、オンラインコンテンツによるDXに関する学習や、下関市スマートシティ構想に関する講義を受講した本学の学生を中心に、身近な問題(=フードロス)をデジタル技術で解決することをコンセプトにイベントを企画・開催しました。



【「やさいの家」イベント】

日時：2022年12月8日(木)～10日(土)

※ 対面イベントは10日(土)のみ

会場：市民広場（下関市役所前）

●デジコンしものせき

下関市内の学生や社会人など若者を対象とした下関市スマートシティ推進協議会主催のイベントに、本学の学生も多数参加しました。

デジタル技術によるフードロス対策のアイデアを、各グループが約4か月間でまとめ、プレゼンで競いました。

審査の結果、本学学生のグループの「家庭の食品ロスを救え！『野菜農家の権田さん』」が最優秀賞に輝きました。



日時：2022年9月17日(土)(キックオフイベント)

～2023年1月14日(土)(最終審査)

場所：下関市役所



年間活動報告

地域連携活動②

●下関市選挙啓発サポーター支援事業

下関市選挙管理委員会から任命され、若者の投票率向上のための企画立案等を行う下関市選挙啓発サポーターに、本学の学生も12名参加しています。

2022年8月17日(水)に下関市役所で任命式が行われました。サポーターに任命された学生は、学内での定例会議や、ケーブルテレビの番組に出演して啓発を行うなど、積極的に活動しています。

また本学では、2022年7月6日(水)に参議院議員選挙の期日前投票バスが入構・設置され、多くの学生・教職員、近隣住民の皆さまが利用しました。



年間活動報告

産官学連携活動

●下関市スマートシティ推進協議会

下関市がスマートシティへの取り組みをより加速することを目的に設立した「下関市スマートシティ推進協議会」に参加し、市民中心のスマートシティの実現に向けて、施策の選定やアドバイスを行っています。

●中国財務局による特別授業(まちづくり論)

2022年11月16日(水)の「まちづくり論」の授業に財務省 中国財務局 特別国有財産管理官の佐藤 昇氏を講師にお招きし、「国有地を活用したまちづくり～広島駅北口二葉の里の開発を通じて～」と題した特別授業を行いました。財務省の意外な「まちづくり」との関わりについて、貴重なお話を伺うことができました。



●KARASTA. 協議会

下関市より「創業支援型地域活性化事業」の委託を受け、株式会社リージョナルマネジメントが運営している創業支援カフェ「KARASTA.(カラスト)」の協議会に参加しています。

2022年度は3回の協議会に出席し、地域活性に関する情報交換を行ったほか、「創業塾」受講者のピッチ大会に参加しました。



年間活動報告

資料室関連

●下関くじらスクール寺子屋編

2021年10月に本学の鯨資料室を長府庭園二の蔵に移転したことに伴い、これまで夏休みに学内で開催していた「くじらサマースクール」を、今年度は長府庭園主催、株式会社ケーブルネット下関(J:COM 下関)・下関市立大学共催、下関市教育委員会後援で、長府庭園を会場として開催しました。

日時：2022年10月23日(日)

午前の部 10:30～11:30

午後の部 13:30～14:30

内容：くじらにまつわる歴史と文化の講座

(講師：岸本 充弘 経済学部 特命教授)

鯨資料展示室の見学



都市みらい創造戦略機構の活動の概要

地域調査研究活動

1. 地域課題(産官学)研究

研究成果は成果報告会で公開するとともに、定期刊行物に論文として掲載し、山口県大学共同リポジトリ『維新』にてWeb公開します。

2. 関門地域共同研究

北九州市立大学との共同研究で、行政区間を超えた「関門一体」を研究対象にするというユニークなものです。両市と双方の市立大学の方向性が一致し、1994年に研究会が発足し、2024年度で30周年を迎えます。

定期的に運営委員会を開催し、研究テーマや共同研究の進め方について協議を行っています。

毎年度、研究成果を年刊『関門共同研究』として公刊するとともに、成果報告会を開催しています。

3. 受託調査研究

地域課題について調査研究の依頼があれば、プロジェクト化の可能性を図り、受託できるよう対応いたします。

地域連携活動

下関の市民・産業界・行政・他近隣の高等教育機関と連携し、地域が求める人材の育成のための支援を行います。

また、地域の課題を把握し、解決のヒントや地域が求めるタイムリーな情報を提供することに務めます。

編集後記

2022年度より都市みらい創造戦略機構 地域連携課に配属になりました、釣井(つるい)伸一郎と申します。

プライベートで地域のまちづくり協議会に参加したり、この度子ども会の会長を拝命したりと、地域活性に関わる活動をしておりましたら、仕事としても地域活性に熱心な皆さまと関わることができるようになり、興奮しております。興奮が過ぎて2023年度から、本学の大学院に進学し、まちづくりを中心とした研究をすることにしました。

「面白きこともなき世を面白く」「みんな違ってみんないい」山口県の人がのこした言葉のとおり、常に前向きに、様々な「みんな」が「面白く」暮らせるまちづくりを、公私ともに追求しようと張り切っています。

地域教育活動

2023年度開講予定の講座等です。詳細は本学のWebサイトで随時ご案内いたします。

市民大学

●公開講座 ●開放授業 ●出前講座

※市民大学をきっかけにさらに本格的に学ぶ意欲をお持ちになられた方には、本学で2020年度から設置されているリカレント教育センターで様々な学習プログラムが開講されておりますのでぜひご参照ください。

(URL: <https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/recurrent/>)

上記リカレント教育センター Web サイト URL の QR コードはコチラ→



資料室関連

本学が所有する鯨資料等について、より広く市民や下関に来られた方にご覧いただくため、また、下関市の歴史や文化を感じていただける機会を創出するため、2021年10月1日より長府庭園二の蔵(下関市長府黒門東町8-11)にて鯨資料展示室を開室し、一般公開を始めました。フグ資料の一部は、本学本館正面玄関に展示しています(2023年3月現在)。

都市みらい創造戦略機構は、下関を象徴する鯨、フグに関する様々な情報を発信し、地域に貢献していきます。



都市みらい創造戦略機構地域連携ニューズレター Vol.2

発刊/2023年3月31日 発行/下関市立大学都市みらい創造戦略機構(地域連携課)



MAIL



Web

〒751-8510 山口県下関市大学町二丁目1-1

MAIL chiikirenkei@shimonoseki-cu.ac.jp TEL 083-254-8613 FAX 083-253-1622

Web <https://www.shimonoseki-cu.ac.jp>